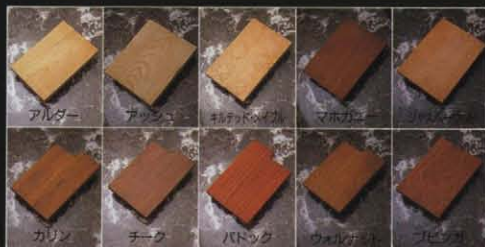


WOOD PARTS

主なBODY材の特徴

マテリアル	硬さ	重さ	LOOKS	原産地	音質特性
ホワイトアッシュ	硬	特重	白色で大きいはっきりした木目	米北部	ワイドレンジにシンのある中低域、シャキッとした高域
ライトアッシュ	中	軽	白色で大きいはっきりした木目	米南部	ワイドレンジな乾いた抜けの良い音
アルダー	軟	中	肌色でうすい葉道な木目	米北部、カナダ	クリアで枯れたタイトな中域
マホガニー	軟	中	赤褐色で木目は不明瞭	南米	まかく、太い低域と抜けの良い高音
ハードロックメイプル	特硬	特重	白色でトラ目模様	北欧、カナダ	輪郭のはっきりした、シンのある重低音
ソフトメイプル	中硬	中重	肌色でモルテッド模様	米北部、カナダ	シンのあるしまった中低域
ハワイアンコア	軟	中	茶褐色でまれにトラ目	ハワイ	コシがあり、しかも抜けの良い中域
チェスナット	中	中	黒褐色で艶がはかりとした目	米中部、北欧	首のツバは粗めだが、輪郭のある、抜けの良い音
ウォルナット	硬	重	黒がかった茶色のシマ模様	米東部	粘りのある中低域
バドック	硬	重	赤褐色ではっきりした木目	西アフリカ	かためだが、抜けの良い、しまった音
ジャスパード	中	中	白色-新色のきれいなトラ目	カナダ	アルダーに近いが、よりシンのある音
チーク	軟	中	黄褐色の不均衡なシマ模様	インド、東南アジア	乾いたコシのある重低音
ポプラ	軟	軽	白色で葉道なはっきりした木目	シベリア、北米	音抜けは良いが軽い音

ギターはボディ、ネックの材質で80%以上決まるといっても過言ではない。ESPでは完璧にシーズニングを施し、さらに選びぬいて使用しています。20種以上のマテリアルの中から自分の好みに合ったものを選んで下さい。



E. GUITAR BODIES



E. GUITAR NECKS



木工



選びぬかれた材は、プロのクラフトマンにより一本一本丁寧に加工されていく。ハンドメイド故に出せる高級感はESPギターの根源である。

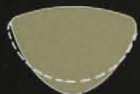


スタンダードU



基本的なシェイプで、クセのないノーマルなタイプ。オールマイティであり、どんなジャンルの音楽にも使用する事が可能だ。

オールドV



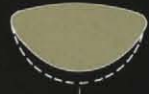
オールド・フェンダーに使用されていたシェイプで、別名「三角ネック」とも呼ばれ、山の部分かとんがり、左右を削ってあるので小さい感じがする。

SV(Takasakiv)



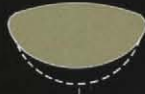
オールドVをさらに鋭角にしたシェイプで、ラウドネスの高音域愛用のスタイル。使い慣れないウチはちょっと弾き辛いですが、使いこなせば使用感バツグン。

SU



スタンダードなUシェイプを全体にうすくした感じでフィット感バツグン、女の子にもおすすめ。

UC(V・ヘイレン・シェイプ)



Uシェイプの極端ともいえるべき、うすく、平たいシェイプで、エドワード・ヴァン・ヘイレンをはじめ、最近のギタリストに愛用者が多い流行のタイプ。

塗装

渋いラッカー・フィニッシュから、グラフィックペイントまで、素材の良さを最大限に生かし、完璧なまでの美しさを演出するその塗装作業は、ESPクラフトマンの最大の見せ場であり、その仕上がりには誰もが納得し、誰もが満足することだろう。



OTHER PARTS

時代が経つにつれて、ユーザーの持つ個性の多様化はますます進んでいく。ESPでは、カスタムメイドにおいて彼らの希望に出来る限り応えるべく、他社、外国製パーツの使用を可能にしている。

組込

ギターの音質、コンディションの決定は、最後の作業行程である組込が、最終的なキーポイントと考えて良いだろう。最高の木材で加工され、最高の塗装で仕上げられたESPのボディ、ネック。又、選びぬかれたパーツの良さを1本1本最大限に引き出すことのできるクラフトマンの技術と自信。ここにもESPのポリシーが、貫かれている。